

I （仮称）西信達義務教育学校等整備事業

泉南市が目指す小中一貫教育の実現に向けて、令和5（2023）年3月に「泉南市立小中学校再編計画」を策定しました。

現在は、計画の第Ⅰ期として、西信達小学校と西信達中学校を統合し、新しい義務教育学校とするため、施設計画や教育内容などの検討を進めています。（仮称）西信達義務教育学校等整備事業では、西信達中学校敷地に義務教育学校を新築し、令和10（2028）年4月の開校を目指しています。



南西鳥瞰パース（せんなん教育ニュースに掲載しているイメージは基本設計の参考です）

基本設計書は、市ウェブサイトに掲載しています。次のQRコードからご確認ください。↓



（仮称）西信達義務教育学校等整備事業の設計

2 校名案は 西信達学園

1. （仮称）西信達義務教育学校開校準備委員会

新しい義務教育学校の開校に向けて学校、家庭、地域、行政が連携し、よりよい学校づくりを進めるため、（仮称）西信達義務教育学校開校準備委員会を立ち上げました。

2. 開校準備委員会の検討項目

義務教育学校の開校に向けて、①校名、校章、校歌及び学校制定品、②学校運営及び学校運営協議会、③登下校の安全、④PTA、⑤その他、開校準備に必要な事項が検討されています。

3. 校名案決定と経過

開校準備委員会において、学校名の選定方法を協議し、地域住民・児童生徒等からのアイデアを募集しました。応募された意見を確認し、検討した結果、校名案を「西信達学園」といたしました。

校名案決定の経過は、次表のとおりです。新しい学校の設置については、条例を改正する必要があるため、議会の議決を得るまでの間は「（仮称）西信達学園」として表記します。

令和7年6月24日 【第1回選定委員会】	・学校名選定方法について協議 ・西信達校区の地域住民・児童生徒・教職員から校名アイデアを募集することを決定
-------------------------	--

令和7年7月14日 ～8月18日 【アイデア募集期間】	・校名案募集を開始（QRコード・応募箱） ・応募総数52件（QRコード45件 応募箱7件） ・「西信達学園」「西信達小中学園」「西信達小中学校」が最多同数 ・「西信達は古くからの地名でなくしたくない」など「西信達」「西信」「にしん」を含めた応募が24件
令和7年8月22日 【第2回選定委員会】	・「西信達」を含めた応募が一番多く、地域からも「西信達」の名前を残してほしいという声も聞いており、「西信達」を継承する ・小学生から中学生まで書きやすくなりやすい校名がよい ・校名案としては「西信達学園」で意見がまとまる

3 西信達中学校区のめざす義務教育学校像

泉南市の教育基本方針、西信達中学校区教育目標と整合性を図り、（仮称）西信達学園における義務教育学校像（案）を設定しました。

新しい学校では、9年間の一貫した教育を行う中で、子どもたち自身が成長を実感でき、発達段階に応じて自己実現が達成できる環境づくりを目指しています。

1. めざす児童・生徒像

チャレンジ西信っ子～つながる・広げる・未来へ～

2. 基本方針

児童生徒一人ひとりの特性を理解し、9年間を通じて継続的な支援を行うことで、子どもたちが笑顔で学べる環境を創出し、将来の自己実現に向けた力を育てていくことを目指しています。

（1）9年間を見通したカリキュラム（指導計画）の編成・実施

本校は、小中一貫カリキュラムで9年間の学びの連続性を確保します。

5年生から部分的な教科担任制を導入し、生徒の意欲と自ら学ぶ力の伸長、後期課程への円滑な接続を図り、すべての学年で学級づくりを重視し、人間関係作りの基礎を築きます。

特に、異学年交流を常に充実させ、コミュニケーション能力や規範意識を育成。高校進学後の多様な環境にスムーズに適応できる高い社会性と自律的な学習姿勢を、9年間かけて着実に育てます。

（2）地域に根ざした教育

開校後、コミュニティ・スクール制度を導入し、地域代表者や学識経験者が学校運営に参加し、地域の教育力を活かした教育活動を展開します。

「海のある学校」として、地引網体験や漁港海岸清掃といった活動を行います。また、地域の文化や歴史を学び、防災教育を通じて自助・共助の意識を高め、地域への愛着と防災意識を高めます。

（3）学年段階区分「4－3－2制」と学習空間の変換に対応可能な計画

9年間を次の3つの期間に区切り、それぞれの目標に合わせた指導を行います。

1～4年生 （基礎・基本期）	学級担任制で学習への興味・関心を最大限に引き出し、基礎学力と自ら考える力の基礎を養います。また、豊かな心と規範意識を育み、異学年交流を通じて他者への思いやりや社会性の土台を築きます。
5～7年生 （習熟・接続期）	教職員が協働し、教科担任制で学びの専門性を高めます。学習の楽しさを知り、自律的な学習力を育成します。また、異学年交流を通じ、多様な人間関係に適応する力を培います。これにより、義務教育後期課程へ円滑な接続を図ります。
8・9年生 （充実・発展期）	予測困難な時代においても、人生を楽しみながら幸せに歩む力を育む、義務教育9年間の集大成です。 この時期に、課題発見力や論理的思考力を鍛え、自律的な学びの姿勢を確立します。また、異学年交流で培った高い社会性をもって多様な人と協働し、自らの意志で未来を切り拓く力を育てます。

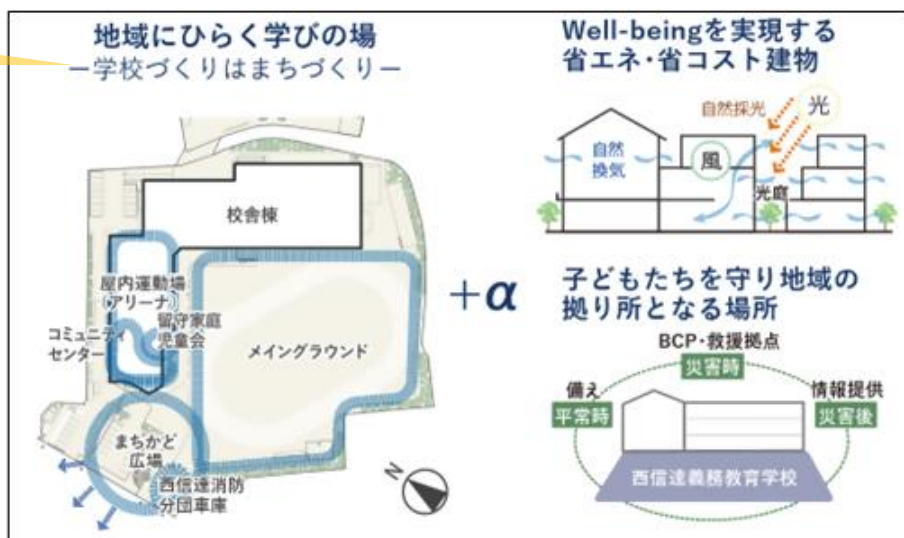
4 設計コンセプト

1. 全体施設コンセプト

まちかど広場やコミュニティセンターと一体となった施設づくりを通して、「地域にひらかれ、地域に元気をもたらす、地域にかけがえのない学校」とします。

光と風に満ちた空間、時代を反映した様々な学びの環境の中で、出会いと交流を通した『チャレンジ西信っ子』の成長の場として、

安全安心で、頼りになり、いつまでも使い続けられる「学校」を創ります。



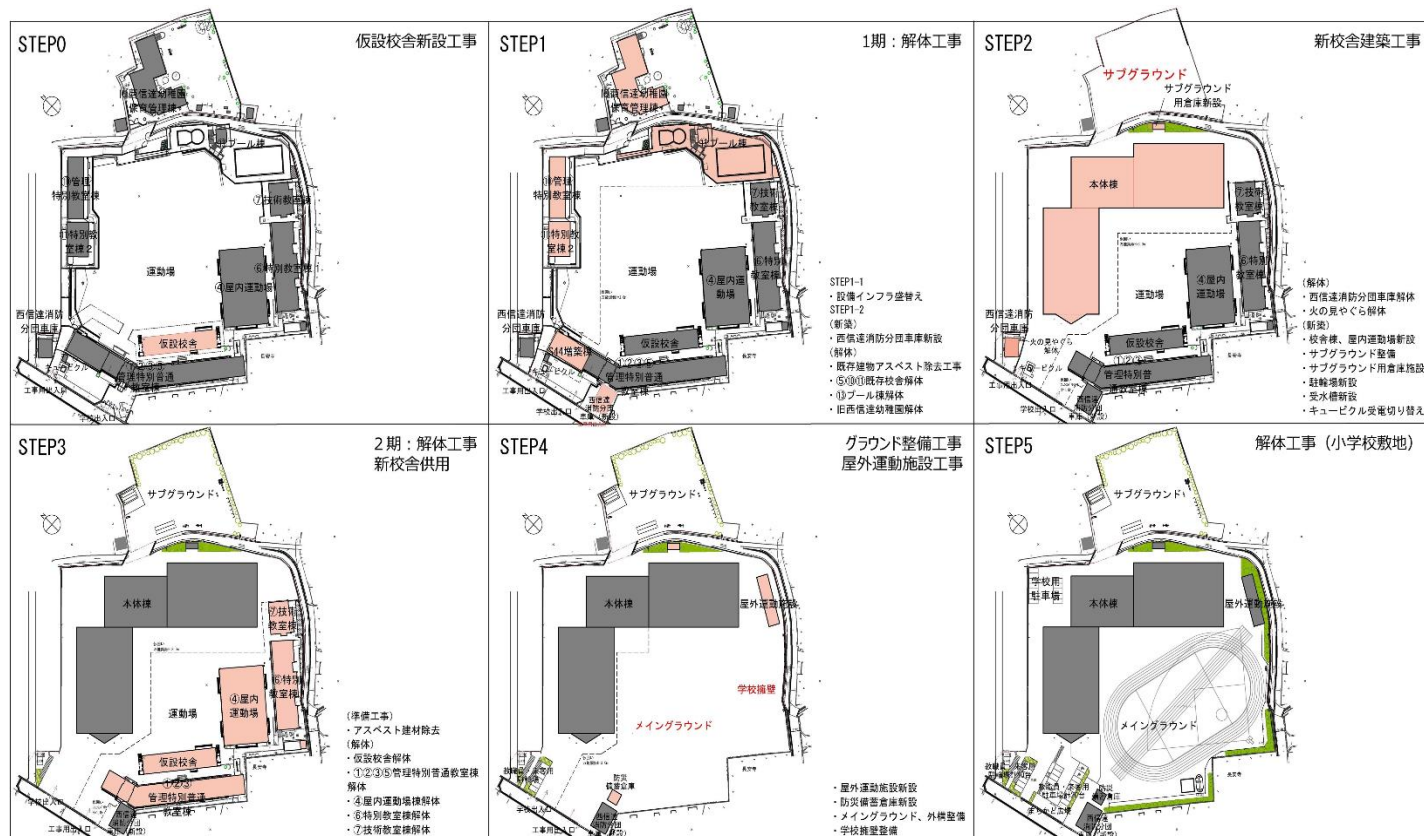
5 全体工程計画

令和 7（2025）年 9 月から令和 11（2029）年 5 月まで、次のスケジュールで計画しています。

1. 計画スケジュール

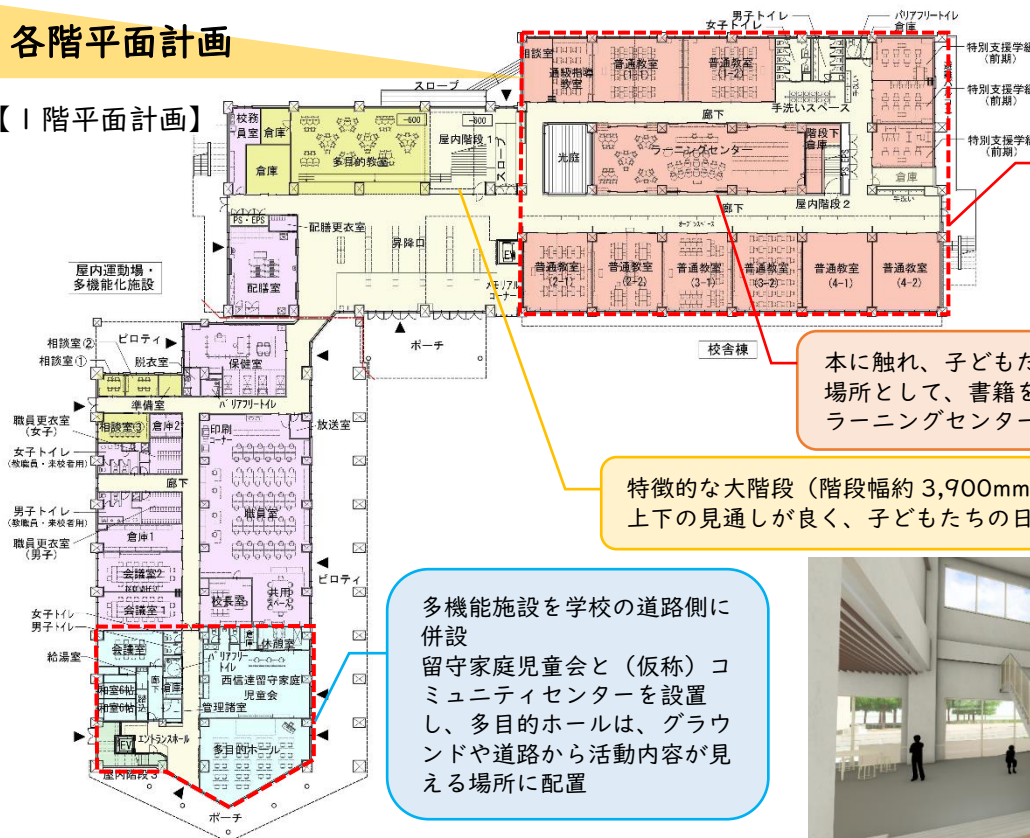
工事 STEP	2025年度(令和7年度)							2026年度(令和8年度)							2027年度(令和9年度)							2028年度(令和10年度)							2029年度 (令和11年度)										
	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5					
STEP0	仮設校舎																																						
STEP1				1期：解体工事																											開校R10.4						義務教育学校 全体供用		
STEP2							新校舎建築工事														開校準備			新校舎供用							〇								
STEP3																								2期：解体工事							【完成】								
STEP4																															グラウンド整備工事								
STEP5																																解体工事（小学校敷地）							

2. 工事ステップ計画



6 各階平面計画

【1階平面計画】



1年生から4年生までの普通教室や特別支援学級を配置
普通教室前は、交流の場としても使用できる幅広い廊下が特徴

本に触れ、子どもたちが「ホッ」とできる居場所として、書籍を約15,000冊収納できるラーニングセンターを校舎の中心に配置

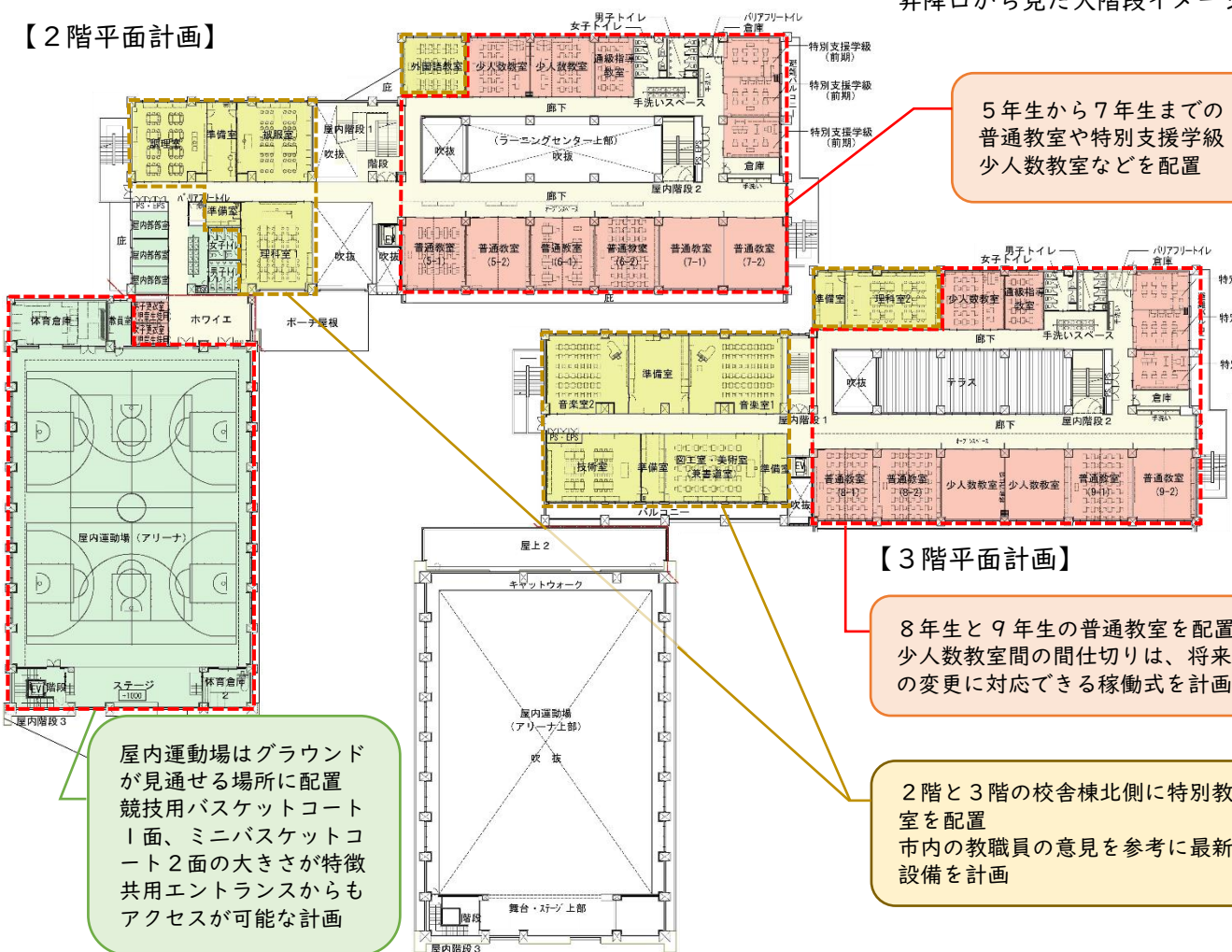
特徴的な大階段（階段幅約3,900mm）を昇降口の正面に配置
上下の見通しが良く、子どもたちの日常の交流の場を創出

多機能施設を学校の道路側に併設
留守家庭児童会と（仮称）コミュニティセンターを設置し、多目的ホールは、グラウンドや道路から活動内容が見える場所に配置



昇降口から見た大階段イメージ

【2階平面計画】



5年生から7年生までの普通教室や特別支援学級
少人数教室などを配置

【3階平面計画】

8年生と9年生の普通教室を配置
少人数教室間の間仕切りは、将来の変更に対応できる稼働式を計画

屋内運動場はグラウンドが見通せる場所に配置
競技用バスケットコート1面、ミニバスケットコート2面の大きさが特徴
共用エントランスからもアクセスが可能な計画

2階と3階の校舎棟北側に特別教室を配置
市内の教職員の意見を参考に最新設備を計画



発行・編集：泉南市教育委員会事務局 教育部
TEL：072-483-2581（教育総務課直通）
e-mail：k-soumu@city.sennan.lg.jp

〒590-0505 泉南市信達大苗代 374 番地の4
FAX：072-483-7306
市ウェブサイト：https://www.city.sennan.lg.jp

泉南市教育委員会ポータルサイトは、泉南市 HP のバナーかこちらの QR コードで⇒

